

科目コード	A307
授業科目名	小児看護学方法論演習
授業科目名(英文)	Practice in Child Health Nursing
講義室等	1105、6313
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	看DP-2 看DP-4
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	中村 恵美
授業の概要	小児看護学概論や方法論で得た知識を活用し、実践につなげる方法を学ぶ。まずは、担当事例の看護計画を立案する。その計画をもとに、プレパレーション技術、フィジカルアセスメント技術、診療補助技術、健康教育・指導、遊び・学習支援、危険予知と安全など、具体的な援助方法を考え、グループ毎にプレゼンテーションやロールプレイを行う。また、他のグループと積極的に意見交換することで、担当した事例のみでなく、疾患や発達段階の異なる6事例すべての看護を理解することができ、臨地実習に活かせることが期待できる。
授業の到達目標 (学修効果)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護における看護過程に必要な知識を整理し、模擬患児の看護計画を立案し説明できる。 2. 子どもの権利や発達段階、心身の状況に応じたコミュニケーションのあり方を考え、一部実施できる。 3. 模擬患児の疾患・症状・治療をふまえて観察項目を抽出し、発達段階や心身の状況に応じた方法でフィジカルアセスメントの一部を実施できる。 4. 治療・処置・検査が子どもに及ぼす影響をふまえてプレパレーションやディストラクションを立案し、一部実施できる。 5. 模擬患児の発達段階や心身の状況をふまえて健康教育や指導計画を立案し、一部実施できる。 6. 模擬患児の発達段階や心身の状況に応じた遊びや学習支援の計画を立案し、一部実施できる。 7. 医療現場で多い子どもの事故を理解し、模擬患児に起こりうる事故と原因をアセスメントし、予防策を説明できる。 8. 演習を通して小児看護における倫理的問題への対応について考えることができる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	各演習課題への取り組み(20%)、課題レポート(40%)、定期試験(40%)とし、60点以上を合格とする。レポートは「小児看護学 看護過程の展開評価表」に基づき評価する。
教科書	①奈良間美保 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論」第13版(医学書院) ②奈良間美保 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[2]小児臨床看護各論」第13版(医学書院)
参考書	適宜必要な文献を選び、使用する。
その他	演習の日程や方法の詳細は、後日説明する。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R3.4.7	水	IV	小児看護における看護過程の展開 ①	演習・個人ワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 看護過程(No.2,3)を記載する				
				復習 (No.2,3)加筆修正して期日までに提出する				
2	R3.4.14	水	IV	小児看護における看護過程の展開 ②	演習・個人ワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 看護過程(No.3)を加筆修正し、期日までに提出する				
				復習 (No.3)加筆修正して期日までに提出する				
3	R3.4.21	水	IV	小児看護における看護過程の展開 ③	演習・グループワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 看護過程(No.4)を記載し、期日までに提出する				
				復習 (No.4)加筆修正して期日までに提出する				
4	R3.5.12	水	IV	小児看護における看護過程の展開 ④	演習・グループワーク発表	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 看護過程(No.4,5)を記載し、期日までに提出する/発表準備				
				復習 (No.4,5)加筆修正して期日までに提出する				
5	R3.5.19	水	IV	小児看護における診療補助技術①(プレレレーション)	講義	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 テキストの該当ページを読み、動画を視聴する				
				復習 担当事例に必要な援助について考える				
6	R3.5.26	水	IV	子どもと家族への健康教育・指導技術 ①	演習・グループワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 対象に必要な健康教育・指導について考えてくる				
				復習 期日までに発表資料を提出する				
7	R3.6.2	水	IV	子どもと家族への健康教育・指導技術 ②	演習・グループワーク発表	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 発表の準備を行う				
				復習 評価表を用いて振り返る				
8	R3.6.9	水	IV	入院中の子どもの遊びや学習の支援技術 ①	演習・グループワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 対象に必要な遊び・学習支援について考えてくる				
				復習 期日までに発表資料を提出する				
9	R3.6.16	水	IV	入院中の子どもの遊びや学習の支援技術 ②	演習・グループワーク発表	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 発表の準備を行う				
				復習 評価表を用いて振り返る				
10	R3.6.23	水	IV	医療現場で多い子どもの事故予防の技術 ①	演習・グループワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 対象に起こりうる医療事故について考えてくる				
				復習 期日までに発表資料を提出する				
11	R3.6.30	水	IV	医療現場で多い子どもの事故予防の技術 ②	演習・グループワーク発表	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 発表準備を行う				
				復習 評価表を用いて振り返る				
12	R3.7.7	水	IV	子どものフィジカルアセスメント技術 ①	演習・グループワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 テキストの該当ページを読む				
				復習 期日までに発表資料を提出する				
13	R3.7.14	水	IV	子どものフィジカルアセスメント技術 ②	演習・グループワーク発表	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 発表準備を行う				
				復習 評価表を用いて振り返る				
14	R3.7.16	金	II	子どものフィジカルアセスメント技術 ③	演習・グループワーク発表	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 発表準備を行う				
				復習 評価表を用いて振り返る				
15	R3.7.16	金	III	小児看護における診療補助技術②	演習・個人ワーク	中村 恵美 檜原 美鈴		
				予習 テキストの該当ページを読む				
				復習 期日までに課題を提出する				